



第23号 (平成18年3月発行)
東海ノア協定事務局
(原子力機構・原子力科学研究所内)
Telephone : 029-282-5801
E-mail : t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第23号 をお届けします。

安全協力協定が締結（平成12年1月20日締結）されてから6年が経過し、平成17年度は、日本原子力研究開発機構の発足を機に「原子力事業所安全協力協定」の改正を行いました。東海ノアでは、今後も協定加盟事業所の協力のもと、活動の推進に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、適宜、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、<http://tnoah.tokai-sc.jaea.go.jp/> です。

トピックス

☆活動状況

- ・ 自主保安に関する点検協力活動
- ・ 安全教育に関する協力活動
- ・ 緊急時に対応するための活動

☆加盟事業所からの事業所紹介

☆今後の活動予定

東海 NOAH :

東海村 (東海)、那珂市 (N)、大洗町 (O)、旧旭村 (A) …現銚田市、ひたちなか市 (H)

活動状況

自主保安に関する点検協力活動

○平成17年度 第1回自主保安に係る点検協力活動

12月21日（水）、東海ノアよりニュークリア・デベロップメント株式会社に、自主保安点検協力活動報告書（平成17年7月26日実施）が手渡されました。



ニュークリア・デベロップメント株式会社 出雲路取締役技師長に、報告書を手渡す吉田幹事長

○平成17年度 第2回自主保安に係る点検協力活動

(1)実施日 平成18年2月6日（月）

(2)事業所名 日本原子力発電株式会社 東海発電所・東海第二発電所

(3)点検協力者 3名

- ・核燃料取扱主務者（所属：日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター）
- ・放射線取扱主任者（所属：日本照射サービス株式会社 東海センター）
- ・衛生管理者（所属：日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所）

(4)点検項目

- ①安全文化醸成活動について
- ②品質保証体制の整備等の現況について
- ③教育訓練の実施状況について
- ④他社及び自社施設内で発生した事故・トラブルの水平展開実施状況について
- ⑤緊急時連絡方法・マニュアルの整備状況
- ⑥緊急時を想定した訓練の実施状況



事業所の対応者(右側)と質疑応答を行う点検協力実施者



現場の説明を受ける点検協力実施者

安全教育に関する協力活動

○加盟事業所の従業員等を対象とした安全教育研修の実施

- (1)研 修 名：平成17年度 第2回安全教育研修
- (2)実 施 日：平成18年2月15日（水）
- (3)実施場所：日本原子力発電株式会社 総合研修センター
- (4)内 容：○シミュレータによる運転体験
○身の回りにある物の放射線測定体験
- (5)参 加 者：5名、 他 ノア事務局2名



サーベイメータを用いて、身の回りにある物の放射線を測定する



小型運転シミュレータで制御棒操作を行い、原子炉の出力等を確認する研修参加者

緊急時に対応するための活動

○総合訓練の実施（平成18年1月31日）

東京大学大学院工学系研究科 原子力専攻を発災想定事業所とし、原子炉室内で火災が発生、放射性物質の漏洩・拡大及び延焼拡大の恐れが生じたことを想定した総合訓練を実施しました。

今年度の総合訓練は、原子力機構の発足が10月にあったことに鑑み、通報連絡並びに招集の確認を行い、加盟事業所の協力活動本部員が緊急事態協力活動本部となる原子力科学研究所 防護活動本部室に集結しました。

訓練の参加者は、通報連絡担当者22名、協力活動本部員74名、ノア事務局2名、合計98名でした。

また、訓練終了後に原子力科学研究所 防護活動本部室の見学会が行われ、約30名が参加しました。



原子力科学研究所 防護活動本部室
に集結した協力活動本部員



業務内容の確認を行う協力活動本
部員

加盟事業所からの事業所紹介

『わが社の安全の取組みと教育』

株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所

平成11年9月の弊社臨界事故では、周辺住民の皆様をはじめ多くの方々に、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました。紙面をお借りし、心からお詫び申し上げます。また、東海ノア協定加盟事業所の方々には、事故直後から多大なご支援とご協力を賜り、改めまして、深く感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。

弊社は、平成12年2月、事故の反省から今後のあり方を示した「企業行動計画」を策定し公表しました。また、安全第一に作業を進めるための基本となる考え方を、「絶対安全、絶対無事故」と「基本を大切に、基本を守る」の2つを行動指針として定めました。これらを必ず守り、安全と安心を目指し、そして1日も早く失った信用を回復出来るよう日々努力を重ねて参ったところです。

平成15年4月には、ウラン再転換事業の再開を断念し、現在は、低レベル放射性廃棄物の適切な保管管理、施設の安全な維持管理、及び補償対応を行っています。

弊社の安全管理については、安全管理グループが担当しています。また、労働衛生管理については安全衛生委員会が中心的な役割を担っています。

安全衛生に係わる事項は、討議・決定され、災害発生の芽を摘むべくパトロールによる危険ポイントの発見、各規程類や作業マニュアル等のチェックを行い、安全意識の向上に努めています。各職場では、安全衛生管理者や安全衛生係員が選任されており、年間目標・月間目標の達成実施に向けて、推進活動を行っています。

安全教育については、全従業員を対象とした教育や放射線業務従事者を対象とした教育を、定期的に行っています。教育の内容は、臨界管理、汚染管理、被ばく管理、核物質防護、防火管理、リスクマネジメント、倫理教育などです。これらの教育では、教育終了時に受講者の理解度を確認するためのテストを行い、その結果を次回以降の教育内容に反映させるようにしています。

また、労働安全衛生マネジメントシステム(O SHMS)を導入し、リスクの抽出・対策計画・実施・確認を行い、本質安全化を目指したリスクの削減及び低減化を計っています。

最後に、現在弊社では、生産活動はしておりませんが、与えられた役割について、安全を第一に、真摯に確実に行うべく、全従業員が意識の高揚を計りながら、日々の作業を行っています。今後とも、地域の皆様ならびに東海ノア協定加盟事業所の方々のご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(問合せ先) 東海事業所 総務グループ

0 2 9 - 2 8 7 - 0 5 1 1

今後の活動予定

- ・活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5月
- ・通報訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5月
- ・自主保安点検協力活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月

編集後記

東海ノアの活動につきましては、加盟事業所の皆様方よりご理解・ご協力をいただき日頃より感謝いたしております。

例年にない寒さの影響を受けてか、梅の開花もようやく聞こえてきた今日この頃です。

本年度を振り返り、事務局も交替、多少遅れ気味とはなりましたが第2回自主保安点検も無事終了し、ほっとしているところです。

今後も東海ノアの活動をより良くするため、皆様方の貴重なご意見をお待ちしております。



(東海ノア協定事務局)